特集

乗り越えよう

Recovery from COVID-19

新型コロナウイルスによって失われたこれまでの日常
乗り越えよう――
災禍の先にある明日のために

感染症による未曽有の影響

全国にさまざまな影響をもたらした新型コロナウイルス。日本国内でも感染者が1・7万人、死者が900人を超え、長期にわたり厳しい状況が続いています。4月7日に首都圏などに「緊急事態宣言」が発出され、4月16日に全国に拡大されたことをうけ、町内でもほぼ全ての公共施設の使用を停止し、小中学校を休校、役場本庁でも分散勤務を実施するなど多くの対応を迫られました。町民の皆さんにも不要不急の外出や県外への往来を避けるようお願いし、生活に大きく支障をきたす自粛を強いることとなりました。皆さんにはさまざまな部分でご不便を感じることもあったかとは思いますが、多くのご協力によって町内での集団感染等はなく、現時点を迎えられています。

▲現在までに合計9回行われている新型コロナウイルス感染症対策本部会議

今までの「暮らし」を取り戻す

感染拡大が一旦は収まったことで5月14日、三重県を含む39県で緊急事態宣言が解除され、菰野町での自粛生活も徐々に緩和されてきました。しかし、約2か月間の自粛期間の影響がすぐに元通りというわけにはいきません。マスクの着用など、日常の生活の上で気にすべきことが多く残っています。このような状況の中で今までの暮らしをどのように取り戻していけばいいのでしょうか。誰しもが不安に感じています。そして、発生が危惧されている感染症拡大の第二波の存在――。それらに対し、どう備えていけばいいのでしょうか。今月号では、新型コロナウイルスをめぐるこれまでの動向とともに、これからの対策についてお伝えします。

これからの「新しい生活様式」

緊急事態宣言解除にあわせて政府が発表した「新しい生活様式」。この「新しい生活様式」を心がけることが、これからの生活の中で必要になってきます。身体的距離の確保やマスクの着用、手洗いにはじまり、「買い物時にレジへ並ぶときは前後にスペースをもうける」、「公共交通乗車時には会話は控えめに」といった具体的な生活スタイルにまで言及されています。さらに「新しい生活様式」を踏まえて厚生労働省は『人との接触を8割減らす、10のポイント』を発表しており、より具体的に気をつけるべきポイントを示しています。

公開中
人との接触を8割減らす、10のポイント
三重県ホームページで確認できます。

感染症 地域医療の最前線

町の基幹病院である三重北医療センター菰野厚生病院でも感染管理認定看護師2名が中心となり、感染対策が徹底されています。通常2か所設けている病院の玄関を1か所に集約し、来院者全員に手指の消毒とサーモグラフィーでの体温測定を実施しています。体温が37・0度以上と測定された方は別室へ誘導して問診を行い、もし新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、特別感染症室で専門の看護師が再度問診を行います。特別感染症室は、使用するパソコンや聴診器などを患者ごとに全て消毒し、パーテーションタイプの空気清浄機2台を稼働させ、常に空気が新鮮な状態であるように保たれています。

全ては院内感染を起こさず、もしもの感染発生に備えるため。最前線で対策が行われています。

Column 01

救急隊員も感染症対策

ゴーグルと感染防止着

町消防署では感染防止対策として、新型コロナウイルス感染者への対応に関わらず全ての救急事案に対して、ゴーグルと上下の感染防止着を着用して出動しています。また、出動後には救急車車内、資器材の消毒を徹底し、感染予防に努めています。

救急要請の場合も出来るだけ**マスク**の着用を！

119番通報の対応

三重北消防指令センターでは新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、通常お聞きする内容に追加して、発熱症状やせき・くしゃみ等の有無、他都道府県や海外への訪問の有無、感染者や感染疑いの方との濃厚接触の有無を尋ねる場合があります。

おねがい

厚生病院に来る前に！

院内感染を防ぐため、熱がある方は、必ず事前に電話してからご来院ください。専門スタッフが聞き取りを行いますので、ご協力をお願いします。

▶三重北医療センター菰野厚生病院
TEL 393-1212
FAX 394-2679
※当面の間、入院患者の方への面会を原則お断りしています。
※熱のある方の診察は原則、午後に行っています。

INTERVIEW

三重北医療センター
菰野厚生病院
院長 小嶋正義さん

会食中のウイルス飛散に注意

院内感染を起こせば、その病院の機能はストップしてしまいます。そうならないよう、スタッフの対策も万全を期して患者の受け入れを行っています。

新型コロナウイルスは特に唾液からの感染に注意が必要です。会食時などマスクを外して人と喋るときにウイルスが飛散するため、注意してください。マスクを外して大声で喋れば、2㍍以上飛散する場合もあります。

◀特別感染症室

◀玄関での体温測定

コロナを振り返る 一部抜粋

国・三重県

- 1/16 日本国内で初の感染者を確認
- 2/27 春休みの期間まで小中高一斉休校を要請
- 3/14 桑名保健所管内に感染症患者が発生
- 3/15 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置
- 3/2 公共施設を一部休館し町内小中学校を休校に
- 4/7 首都圏や大阪、兵庫、福岡県に緊急事態宣言
- 4/11 公共施設の利用を停止
- 4/15 町内小中学校を再び休校に
- 4/16 全国に緊急事態宣言
- 4/16 町内で初の感染者を確認
- 4/18 町内で二例目の感染者を確認
- 4/21 町内で三例目の感染者を確認
- 4/27 感染症対策リーフレットを全戸配付
- 5/7 役場本庁の分散勤務を実施
- 5/12 議会臨時会で感染症関連の補正予算案を提案
- 5/14 一部地域以外の緊急事態宣言の解除
- 5/15 三重県が『三重県指針』を発表
- 5/18 町内小中学校を地区別分散登校で一部再開
- 5/22 感染症対策リーフレット(2)を全戸配付
- 5/25 全ての県で緊急事態宣言の解除
- 5/25 町内小中学校を再開
- 5/26 三重県が『三重県指針』ver.2を発表

菰野町

- 6/1 公共施設の利用を再開 役場本庁の分散勤務を解除
- 6/8 議会定例会で感染症関連の補正予算案を提案